



川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和5年7月20日
富田林市立川西小学校
TEL 24-3107
FAX 26-2306

★児童数配布

『 日々の清々しさと 危惧 』 校長 山下 文博

普段は子どもたちの登校時間に合わせて、校区内を巡回していることが多いのですが、先日は三日間ほど正門前で登校時の様子を見ていました。以前にもお伝えいたしましたが、本校の子どもたちは、本当に良く挨拶をしてくれます。私が声をかけるよりも先に挨拶をしてくれる子。遠くから手を振ってくれる子、少し照れくさそうにお辞儀をしてくれる子など、表現の仕方はいろいろありますが、朝から出会うほとんどの子が気持ちよく挨拶をしてくれます。最近では帰り際にも遠くから「こおちよおせんせえ〜っ！」と手を振ってくれる子も増え、嬉しい限りです。また、朝の登校時には川西小学校の児童だけでなく、第二中学校の生徒の皆さんも、気持ちのいい挨拶をしてくれます。中には、とても素敵な笑顔も添えて挨拶をしてくれることもあり、日々の暑さに負けなくらい清々しい気分にならせてもらっています。

そんな登下校の場面なのですが、少し気になったことがあります。まずは、第二中学校並びに本校の正門へと続く道路です。特に二中学生はその道路脇を通過して通学しています。その二中学生の横を結構なスピードで通り過ぎる、自動車やバイク、そして自転車まで…。通学時間と通勤時間が重なるのは仕方のないことなのですが、運転の仕方が荒っぽいような気がしました。

もう一つは、スマホを片手にハンドルを握っているドライバーを見かけます。特に本校の正門前は押しボタン式になっているため、普段は黄色の点滅になっています。ちょっとスマホに意識を向けた際に信号が変わり、児童が横断していることに気づかず、大事故につながるという可能性も有ります。もちろん学校でも、交通安全や登下校時の歩き方などについて指導はしていますし、毎日暑い中、見守り隊の方々にもお立ち頂いておりますが、私たち大人が、『学校付近』であることや『通学路』があるということをしっかりと意識していきたいものです。

さて、4月10日の始業式から始まった令和5年度もあっという間で、本日無事に一学期の終業式を迎えることができました。コロナ禍前に実施していた従来の教育活動を各学年で行うことができました。

5・6年生の宿泊行事をはじめ、3・4年生の社会見学、1・2年生の校区探検などの学校外に出での学習もスムーズに実施することができました。また学習参観や引き渡し訓練など、参加人数を制限することなく実施することもできました。

また、子どもを中心に据えた地域の行事として、『二中すこネットまつり』や『川西地区夏祭り』も盛大に開催されました。ご協力いただきました保護者の皆様、そして地域の皆様本当にありがとうございました。明日からは、子どもたちが楽しみにしている（私としては子どもたちに会えないのが寂しいのですが…。）夏休みになります。熱中症や突然の豪雨などの心配もありますが、有意義にすごしてほしいと思います。